

様式第3号(第12条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	第1回産業振興条例検討委員会
開 催 日 時	平成29年 7月26日(水) 午前・午後 2時00分から 午前・午後 3時45分まで
開 催 場 所	吉川市役所201会議室
出席委員(者)氏名	【産業振興条例検討委員】鈴木 努、生田 貴之、近藤 旭、 柏瀬 浩史、太田 久年、関根 俊和、程田 幸秀、田口 政博、 広嶋 秀樹、蓮見 良平 【委員以外の出席者】 中原 恵人(市長)、島田 勝三(秘書担当)、油川 誠(農政課)
欠席委員(者)氏名	なし
担当課職員職氏名	市民生活部 副部長 兼 商工課 課長 山崎 守 市民生活部 商工課 課長補佐 鈴木 康雄 商工課 商工観光係長 柴田 守彦 商工課 商工観光係 主任 小島 慎平
会議次第と会議の公開又は非公開の別	○吉川市産業振興条例検討委員委嘱式 1. 開会 2. 委員の委嘱 3. 市長あいさつ ○第1回吉川市産業振興条例検討委員会 1. 開会 2. 委員および事務局の紹介 3. 委員長・副委員長の選出 4. 議題(公開) (1) 産業振興条例策定の考え方について(事務局より説明) (2) 今後のスケジュールと進め方について(事務局より説明) (3) 意見交換 5. 閉会
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)	
傍聴者の数	0人

会議資料の名称	資料1 次第 資料2 委員名簿 資料3 吉川市産業振興条例検討委員会設置要綱 資料4 吉川市産業振興条例の制定について 資料5 吉川市産業振興条例策定の進め方 資料6 吉川市産業統計データ
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	鈴木 努、生田 貴之
その他の必要事項	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
	<p>○吉川市産業振興条例検討委員委嘱式</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員の委嘱 3. 市長あいさつ <p>○第1回吉川市産業振興条例検討委員会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員および事務局の紹介 3. 委員長・副委員長の選出 <p>立候補なし。事務局案として、委員長に太田久年委員、副委員長に田口政博委員を提案。全会一致で承認。</p> <p>議事に先立ち、太田委員長より、会議録確認指定者として鈴木委員、生田委員を指名。各委員了承。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 産業振興条例策定の考え方について <ul style="list-style-type: none"> ・市長より産業振興条例制定の考え方の説明 ・事務局より資料4を元に事例等を説明 (2) 今後のスケジュールと進め方について

<p>中原市長</p>	<p>・事務局より資料5を元に、進め方（会議体体制）とスケジュールを説明。</p> <p>（3）意見交換</p> <p>具体的な条文の検討に入る前に、産業振興条例の考え方として、産業の振興を目指すのか、あるいは市の全体の発展の中に産業振興を位置付けるのか、その捉え方についても議論したい。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>データでは5人に3人が外に働きに出ている。例えば地元の雇用が増え、地元で働く人が増えれば、市への貢献につながる。産業の発展と市の発展は一体であると考えます。</p>
<p>中原市長</p>	<p>市に移ってきた企業への補助金、固定資産税の減免を行う等の方向ではなく、産業と行政がタッグを組んでまちづくりを行う方向のなかこそ産業振興の本当の意味があるのではないかと。</p>
<p>程田委員</p>	<p>そう思う。生産者の幸せ、小売者の幸せ、消費者の幸せ、それぞれの幸せがあると思う。例えば、自身の小売業としての立場であれば「まちにあるべき店」でありたい。それぞれの立場の幸福実感を追求することが、ひいては産業の発展、市の発展につながるのではないかと。</p>
<p>田口副委員長</p>	<p>産業全体について話をまとめていくには、産業ごとに見ていかなければならないため時間がかかる。条例のみでなく、計画を作ることが重要。幸福実感の追及は条例の策定ではなく実施することにある。条例を作っても実施計画とそのチェック機能が働かないと、条例策定の意味がない。短い時間で計画まで詰めるにはどうしたらよいか。</p>
<p>中原市長</p>	<p>条例を作って終わるとは思っていない。条例検討の間に政策案も出てくるはずなので、それをまとめて計画案としたい。さらに、条例を作った後に、詳細計画策定の委員会を設けて議論を継続することもありうる。まずは産業振興の方向性を決める条例の策定であり、各産業分</p>

	<p>野から意見をもらって落としどころを見つけたい。</p>
田口副委員長	<p>推進チームはどのようなものになるのか。どのようにヒアリングし、条例策定に反映するのか。</p>
事務局/中原市長	<p>推進チームと名付けているが、実態は事務局が各団体に出向くことを行うことを想定しており、条例案作成のワーキングチームとしての性質を持つものである。特に、団体に属していない企業等や、学識経験者との意見交換を考えている。</p>
事務局	<p>委員会で出た意見についても団体等の意見や要望を聴き、課題整理を進めていきたい。</p> <p>また、過去には計画を作るものの実施に至らなかった例もあるため、条例の中で実施を担保するための組織作りも必要である。</p>
太田委員長	<p>他自治体では、計画の策定とチェックの機関としての委員会を設置している例もある。</p>
近藤委員	<p>委員長の意見のとおり、計画の実施を監督する機関は必要と考える。</p> <p>一方、市の発展を担うのは中小企業と捉えるのか大企業と捉えるのか、加えてヒアリングを経て、条例の中でそれぞれの細かい役割を決めていくのは、今のスケジュールのなかでは難しいのではないかと。</p>
中原市長	<p>条例案として示された項目に捉えられる必要はない。他自治体と異なる形でも構わないし、他を見習う必要もない。基本条例であり、細かくは書けない。例を挙げれば、先に出た「幸福感の追及」等、政策の方向性を示すものを作りたい。</p>
田口副委員長	<p>皆が思ったことをどんどん出して頂きたい。それを事務局にしっかりとまとめてもらい、それを元に議論を重ねていかないと、短い期間で</p>

事務局	<p>はまとまらないと思う。</p> <p>白紙の状態で議論して頂き、何が必要かを抽出し、それを元に条例案をまとめるのも一案と考える。</p>
中原市長	<p>自身の事業について生産者としての幸せ、消費者としての幸せは何か、自分の事業がどうなれば地域がどう変わるか、について次回のテーマにしたい。</p>
柏瀬委員	<p>この条例において、即効性のものを考えているのか、長期的なものを考えているのか、市としてどんなメリットがあるのか、を明確にしていきたい。自分は事業承継のコンサルをやっているが、親族外承継の難しさに直面している。事業承継の課題で市内企業が減っていくのを目の当たりにしている。</p> <p>地元の産業が伸びていくようにするのが条例の大前提であるが、他自治体の面白味のない条例が多い。自分たちが作って自分達ができる条例としたい。</p>
中原市長	<p>事業承継と絡み、リタイア世代の起業も大事と考える。ご意見のとおり、条例については、章立てで役割を書くものではなく、オリジナリティがあってもよいと思う。</p>
関根委員	<p>農業の現状もいろいろな課題がある。例えば、コメは価格の下落から後継者にとって魅力ある産業として映っていない。また、多くの就農者は農作業で手いっぱい他のことに手が回らない現状がある。体験型農業を進めるにしても外部からのテコ入れが必要と考える。</p> <p>加えて、農業の魅力を伝え後継者を集めたい。人は不足しているし、吉川市内に働く場所はいくらでもある。</p>
広嶋委員	<p>産業振興か市の発展かは切り離せない。吉川市は人口の増えている住</p>

	<p>みやすいまちであるが、このままではただのベッドタウンでしかない。吉川に集まった人、次世代の人に吉川で働いてもらいたい。</p> <p>さらに、中小企業ではパート社員も採用できない実状がある。市内に人が増えているので、企業内保育所があると、働く人が増えるのではないか。金融機関としての立場よりも、お客さんから聞いた声を反映してアイデアを出していきたい。</p>
<p>中原市長</p>	<p>ベッドタウンとして進むか、産業振興を推進するかは、市政の大きな方針である。これまで前者として考えてきた部分があるのではないかと思う。</p>
<p>蓮見委員</p>	<p>美南駅東口の開発が進むなか、転入してくる人は増える。転入者は都内に働きに出て行っている例が多いのではないかと思う。次の世代が吉川で就職、あるいは奥さんが吉川で働く、という流れを作る必要がある。吉川市には「こんな企業がある」という認知度を上げる必要があるのではないか。</p>
<p>程田委員</p>	<p>小売業の統計データを見ると、店舗数が減って大店舗に集約されている傾向がある一方、吉川市内の総販売額は上がっていない。人口が増えても内需が外に流れているのではないか。理想的はこれを内向きに変える経済循環が必要、これには企業間のミスマッチもあると思われる、その改善も必要と考える</p>
<p>中原市長</p>	<p>次回までに、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①吉川市の課題 <ul style="list-style-type: none"> ・吉川市全体の課題 ・委員自身が携わる産業における課題 ②吉川市がどうなるべきか ③自身の仕事における消費者の幸せと生産者の幸せ

事務局	を各委員で考え、それを元に議論を行いたい。事務局は次回委員会においてそれをまとめた資料を出すと共に、議論のたたき台として条文案を出すこと。 了解した。
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成29年 8月 3日</p> <p>署名委員 鈴木 努（自署） 署名委員 生田貴之（自署）</p>	